



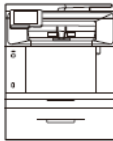




ID	セキュリティ要件	記載箇所	記載箇所を示すスクリーンショット
IA-1	管理者の認証	<ul style="list-style-type: none"> ● 識別情報 スタートガイド ● 記載箇所 管理者について > システム設定のパスワード 	<h2 style="text-align: center;">管理者について</h2> <h3 style="text-align: center;">システム設定のパスワード</h3> <p>本機の設定を管理者権限で行うには、パスワードが必要です。設定は、本機の操作パネルとコンピューターのWebブラウザそれぞれから行えます。本機を設置したら、ユーザーズマニュアルの「設定モード」を参照して新しいパスワードを登録してください。</p>
IA-2	デフォルトパスワードの変更	<ul style="list-style-type: none"> ● 識別情報 ユーザーズマニュアル ● 記載箇所 設定モード > システム設定 > セキュリティ設定 > パスワードの変更 	<h2 style="text-align: center;">パスワードの変更</h2> <p>ユーザーパスワードと管理者パスワードを変更します。パスワードを変更するときは新しいパスワードを必ず覚えておいてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1～255文字（管理者パスワードは5～255文字）で設定したいパスワードを入力し、[登録] キーをタップします。設定を有効にするには、本機の電源を入れ直します。送信先の新規登録、変更、削除するためにユーザーレベルの認証パスワードが必要です。ログオンするときにユーザー名は"users"と入力し、パスワードはここで登録したユーザーパスワードを入力します。 • ユーザーパスワードと同様の機能を持つとともに、すべてを設定するために管理者レベルの認証パスワードが必要です。ログオンするときにユーザー名は"admin"と入力し、パスワードはここで登録した管理者パスワードを入力します。 • パスワード入力欄に入力せずに、[登録] キーをタップした場合、前に設定した値が有効になります。パスワード保護はデフォルト有効です。 <h3 style="text-align: center;">パスワードによる本機のWebページへのアクセス制限を行う</h3> <p>Webサーバーにアクセスするとき、必ずログイン画面を表示させてログインしてから設定するようにします。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ● 識別情報 スタートガイド ● 記載箇所 管理者について > システム設定のパスワード 	<h2 style="text-align: center;">管理者について</h2> <h3 style="text-align: center;">システム設定のパスワード</h3> <p>本機の設定を管理者権限で行うには、パスワードが必要です。設定は、本機の操作パネルとコンピューターのWebブラウザそれぞれから行えます。本機を設置したら、ユーザーズマニュアルの「設定モード」を参照して新しいパスワードを登録してください。</p>
IA-3	認証失敗時のアクション	<ul style="list-style-type: none"> ● 識別情報 ユーザーズマニュアル ● 記載箇所 設定モード > システム設定 > 認証設定 > 管理設定 > ログイン失敗時の警告 	<h3>ログイン失敗時の警告</h3> <p>管理者パスワード入力を含め、ユーザー認証時にパスワードの誤入力をカウントし、規定回数（3回）に達した場合、ユーザーアカウントがロックされ、以降そのユーザーの認証受付を5分間停止する機能です。誤入力のカウントはユーザー別に行われ、正しいパスワードが入力された時点でリセットされます。これにより、総当たり手法のパスワード入力により本機が使用されることを防ぎます。（電源を切っても失敗のカウントは消去されません。）</p> <p>工場出荷時：無効</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●  ロックアウトは、すべてのユーザーではなく、ログインに失敗したユーザーのみが対象となります。あるユーザーがロックアウトになっても、他のユーザーはログインすることができます。 ● LDAPのネットワーク認証の場合は、本機ではロックアウトを行わず、サーバー側でロックアウトを行います。サーバー側でロックアウトに対して適切に設定してください。 ● 該当ユーザーがロックアウトされた場合、[操作禁止状態を解除] キーが該当ユーザーの「ユーザーの登録」画面に表示されるので、管理者はキーをタップし手動解除できます。 <hr/>

<p>MT-1</p>	<p>機器のセキュリティ 設定管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 識別情報 ユーザーズマニュアル ● 記載箇所 設定モード > 設定モードリスト 	<h2 style="color: blue;">設定モードリスト</h2> <h3>設定モードリスト</h3> <p>リンクファイルをクリックすると、それぞれの説明の詳細が表示されます。 設定モードではWebページのみで設定できるもの、また本機のみで設定できるものがあります。</p> <p>■ システム設定-セキュリティ設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティ設定 <ul style="list-style-type: none"> ▶ パスワードの変更 <ul style="list-style-type: none"> ◆ パスワードによる本機のWebページへのアクセス制限を行う ◆ 管理者パスワード ◆ ユーザーパスワード ▶ パスワード設定 ▶ 基本設定
	<p>機器のセキュリティ 設定管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 識別情報 ユーザーズマニュアル ● 記載箇所 本機を便利に使う > 本機の使用を管理する > ユーザー管理 > 権限グループ > 主な権限の種類 (デフォルトグループリスト) 	<h2>権限グループ</h2> <p>権限グループでは、特定のグループに所属するユーザーに対して、各機能や設定に関して制限を行うことができます。あらかじめ機能や設定に関して制限することで、本機に関して詳しくないユーザーによる誤動作や誤設定を防ぐことができ、本機を安全に使用することができます。</p> <h3>主な権限の種類 (デフォルトグループリスト)</h3> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>管理者権限</p>  <p>すべての機能や複合機の設定を行うことができます。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ユーザー権限</p>  <p>コピーやプリンターなどの機能は使用できるが、複合機の設定はできない。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ゲスト権限</p>  <p>一部の限られた機能しか使用できない。</p> </div> </div> 

<p>MT-2</p>	<p>セキュリティ設定の 初期化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 識別情報 ユーザーズマニュアル ● 記載箇所 設定モード <ul style="list-style-type: none"> > システム設定 > セキュリティ設定 > 個人情報と本機内データの初期化 	<h2 style="text-align: center;">個人情報と本機内データの初期化</h2> <p>[OK]キーを押すと、以下の個人情報と本機内データの初期化を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アドレス帳及び関連する個人情報の全データ • ユーザー情報の全データ • 本機内の全ジョブデータ • ログ情報 • 内部処理用データ及び領域 • その他、ユーザーが登録/保存した本機内のデータ <hr/> <p> この設定は操作パネルでのみ設定できます。</p>
<p>PT-1</p>	<p>ファームウェア アップデート機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 識別情報 ユーザーズマニュアル ● 記載箇所 設定モード <ul style="list-style-type: none"> > ステータス > ファームウェアバージョン ● 識別資料 ユーザーズマニュアル ● 記載箇所 設定モード <ul style="list-style-type: none"> > システム設定 > システム管理 > ファームウェアアップデート設定 	<h2 style="text-align: center;">ファームウェアバージョン</h2> <p>本機のファームウェアのバージョンがリストで表示されます。 この機能は管理者権限が必要です。</p> <hr/> <h2 style="text-align: center;">ファームウェアアップデート設定</h2> <p>USBメモリーを使用せずに、LAN経由で本機のファームウェアのアップデートが行えます。</p> <h3 style="text-align: center;">ファームウェアアップデート</h3> <p>ファームウェアアップデートを有効にするかを設定します。自動モードに設定すると、設定した時刻にファームウェアをアップデートします。管理者確認モードに設定すると、本機の管理者がファームウェアを手動でアップデートします。</p> <h3 style="text-align: center;">自動モードの受付時刻</h3> <p>ファームウェアアップデートで自動モードを選択したときに、ファームウェアをアップデートする時刻を設定します。</p> <hr/> <p> この設定を有効にする前に、ファームウェアアップデートサービス利用規約をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • この設定を「自動モード」または「管理者確認モード」にした場合は、ファームウェアアップデートサービス利用規約が表示されます。 ファームウェアアップデートを使用する場合は、「同意する」にチェックマークを入れて、[OK] キーをタップしてください。（Web ページの場合は、「利用規約に同意する」にチェックマークを入れて、[登録] キーをタップしてください。） • ファームウェアのアップデート中は本機の電源を切らないでください。 • この設定は、操作パネルのシステム管理にもあります。

<p>TP-1</p>	<p>インターネット 通信データ保護 (条件付き必須)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 識別情報 ユーザーズマニュアル ● 記載箇所 設定モード > システム設定 > セキュリティ設定 > SSL/TLS設定 設定モード > システム設定 > セキュリティ設定 > IPsec設定 	<h2 style="text-align: center;">SSL/TLS設定</h2> <p>ネットワーク上のデータ送受信にSSL/TLS通信を適用します。 SSL/TLSとは、ネットワーク上で情報を暗号化して送受信することができるプロトコルです。データを暗号化し、重要な情報などを安全に送受信します。 以下のそれぞれのプロトコルで設定します。</p> <h2 style="text-align: center;">IPsec設定</h2> <p>ネットワーク上のデータ送受信にIPsecを適用します。 IPsecを適用すると、IPのパケットを暗号化するためWebブラウザなどの上位のアプリケーションを意識することなく、データを安全に送受信します。 有効にするときには以下の点にご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定が反映されるまでにしばらく時間がかかることがあり、その間は本機へ接続できません。 • 設定モード（Web版）で設定が正しく行われていないと、本機への接続ができず、プリント、スキャン、設定モード（Web版）の表示等ができなくなることがあります。その場合は、本機からこの設定を無効にし、Webページで正しく設定し直します。
<p>PR-1</p>	<p>運用環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 識別情報 スタートガイド ● 記載箇所 P.4「ネットワークに接続する際の注意事項」 	<h2 style="text-align: center;">ネットワークに接続する際の注意事項</h2> <p>本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することができません。 本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータなどを使用し、割り振られた範囲のサブネットワーク内でファイアウォールなどの保護を行い管理してください。</p>

FR-1	問い合わせ窓口	<ul style="list-style-type: none"> ● 識別情報 スタートガイド ● 記載箇所 裏表紙「お客様相談窓口のご案内」	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <h3 style="text-align: center;">お客様ご相談窓口のご案内</h3> <p style="text-align: center; font-size: small;">修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、 お買い上げの販売店または下記窓口にご相談ください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small;">「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」 などはホームページをご活用ください。</div> <div style="text-align: center;">▶▶▶▶</div> <div style="text-align: right; font-size: x-small;">シャープサポートページ https://jp.sharp/business/print/support/</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-weight: bold;">修理のご相談など</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small; margin-top: 2px;"> 【カスタマーセンター】 シャープマーケティングジャパン株式会社 </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 2px;"> <div style="font-size: large; font-weight: bold;">0570-05-1001</div> <div style="margin-left: 5px; font-size: x-small;">(沖縄地区を除く)</div> </div> <div style="margin-top: 2px;"> <div style="display: flex; align-items: center; font-size: x-small;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 1px; margin-right: 5px;">受付時間</div> <div>●月曜～土曜：9:00～17:40 (日曜、祝日など弊社休日を除きます)</div> </div> <div style="margin-left: 20px; font-size: x-small;"> ■IP電話からは… <table border="1" style="border-collapse: collapse; font-size: x-small; margin-top: 2px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">東日本地区</td> <td style="padding: 2px;">043-332-9910</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">西日本地区</td> <td style="padding: 2px;">06-6794-2909</td> </tr> </table> </div> </div> </div> </div>	東日本地区	043-332-9910	西日本地区	06-6794-2909
東日本地区	043-332-9910						
西日本地区	06-6794-2909						